

岐阜武専 2024年12月度 進行表

可児市錬成館

時間	内容	会場	担当	備考	昇段試験
				送迎：なし	
8:30 (40分)	機材搬入⇒学生入場	2F剣道場		責任者：畑中先生	中濃・東農・飛騨ブロック
9:05 (15分)	作務・出席点呼・整列 学生集合	2F剣道場	学生		受付・書類確認 9:00-9:15
9:10 (15分)	講師・講師補集合、打合せ	2F会議室	教師・講師・講師補	日程確認等	所属長打合せ9:15-9:25
9:25 (15分)	鎮魂行	2F剣道場	主座：永田先生 打棒：蜘蛛先生	太鼓：なし	鎮魂行 9:25-9:40
9:40 (10分)	理事長挨拶・諸連絡	2F剣道場	松久先生		理事長挨拶 諸連絡・昇段諸注意 9:40-9:50
9:50 (5分)	休憩・準備				休憩・準備
9:55 (45分)	【1時限】講義1 金剛禅学習 [A7] [D3] 「金剛禅の教えについて」	2F剣道場	永田先生・蜘蛛先生	机・ホワイトボード・ペン	学科審査 (和室) 宿題評価 (会議室) 10:00-11:00
10:40 (10分)	休憩				
10:50~ (45分)	【2時限】講義2 開祖法話学習	2F剣道場	帆山先生・立花先生	スクリーン・プロジェクター・机・ホワイトボード・ペン	移動 実技試験 (1F柔道場) 学科採点 (2F会議室) 11:10-13:20
11:35~ (50分)	昼食・昼休み (食事は、指定された場所をお願いします)				
(12:05~12:35)	技術確認	2F剣道場	講師・講師補		
12:35~12:45	準備体操	2F剣道場	砂月先生		
12:45~ (30分)	【3時限】全体基本	2F剣道場	帆山先生		
13:15 (10分)	休憩				
13:25~ (80分)	【4時限】実技1 指導者養成コース 指導者コース (研究クラス) 指導者コース (所属長クラス)	2F剣道場 2F剣道場 2F剣道場	永田先生・蜘蛛先生 帆山先生・立花先生 砂月先生・橋本先生		審査結果確認 13:20-13:30 追試・補講 (1F柔道場) 作務 13:30-14:00 審査結果発表 14:00-14:15
14:45 (10分)	休憩				14:20 終了
14:55~ (60分)	【5時限】実技2 指導者養成コース 指導者コース (研究クラス) 指導者コース (所属長クラス)	2F剣道場 2F剣道場 2F剣道場	永田先生・蜘蛛先生 帆山先生・立花先生 砂月先生・橋本先生		
15:55~ (10分)	終礼・総評 感想文提出・出席点呼	2F剣道場	松久先生	太鼓：なし	
16:05~ (10分)	作務・解散 終了	2F剣道場	全員	作務・解散 終了	
	反省会	会議室	講師・講師補		
16:15	終了			送迎：なし	

## 第4回(2024年12月度)技術科目表

### 【3時限】全クラス共通

基本実技	基本科目	指導担当
全体基本	突き技各種 突き技各種に対する防技 天地拳第一系～四系	帆山先生

### 【4時限】実技1

	クラス	技術科目	指導担当
指導者養成コース	初段クラス	地王拳：払受地二、順蹴地三 羅漢拳：引胸落、両胸落	
	二段クラス	地王拳：払受地二、伏虎地二 龍華拳：切返小手、切返投、諸手切返投	永田先生・蜘蛛先生
	三段クラス	仁王拳：開身突(表・裏) 五花拳：天秤投 羅漢拳：半月首投、巻打首投	
	四段以上クラス	地王拳：順蹴地一、逆蹴地一、逆蹴地三 龍華拳：表熊手返、逆木葉返、木葉丁字 羅漢圧法：寸脈攻、合谷攻	永田先生・蜘蛛先生
指導者コース	研究クラス 拳士と四段以下の所属長	・各地区の状況に応じて、以下の内容から選択して実施するものとする。 ○従前からの「心身改造にうけた人づくり」をテーマにした内容 ○四段以上クラスの内容 ○各地区でテーマ設定をした内容	帆山先生・立花先生
	所属長クラス 五段上の所属長	居捕技の研究 修練科目例 ・居捕逆小手、居捕送小手、居捕押小手、伏虎倒、挟倒、袖捕内天秤 等 金剛拳・龍王拳・龍華拳・羅漢圧法 腕十字固(肘谷攻)、巻抜、送小手～横天秤(肘谷攻)～裏固	砂月先生・橋本先生

### 【5時限】実技2

	クラス	技術科目	指導担当
指導者養成コース	初段～三段	○昇格考試対策 ・担当講師の指導の下、自身の昇格考試に向けた対策を行う。 ・質疑応答	永田先生・蜘蛛先生
	四段以上		
指導者コース	研究クラス 拳士と四段以下の所属長	○昇格考試対策 ・担当講師の指導の下、自身の昇格考試に向けた対策を行う。また、考試員資格を持っている者は、実技審査の視点での法形の確認や、考試員講習会の復習を行っても良い。	帆山先生・立花先生
	所属長クラス 五段以上の所属長	○昇格考試対策 ・担当講師の指導の下、自身の昇格考試に向けた対策を行う。また、考試員資格を持っている者は、実技審査の視点での法形の確認や、考試員講習会の復習を行っても良い。	砂月先生・橋本先生